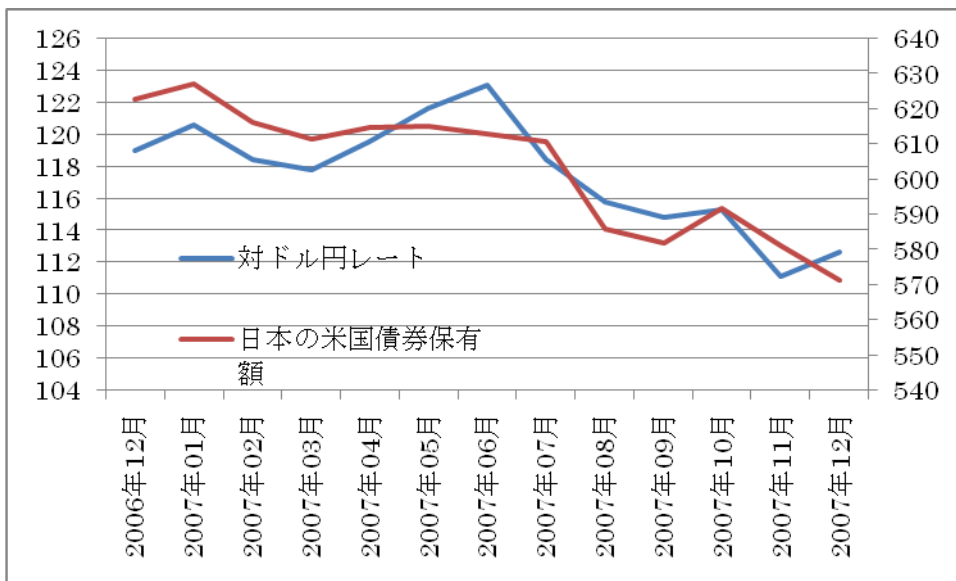


日本は、実は 2007 年中、米国債券を 500 億ドル程度売却している。他方で 2006 年末で保有額が 3 位にあった産油国を、英国とブラジルが追い越している。中国と日本が、米国債券を大量保有していることが非難されているが、実際には英国もブラジルも大量保有国となっているのである。特に 2007 年 10 月以降、英国から米国債に大量に資金が流入している。日本が、米国債券を大量に売却し、それが米国ドル安につながった可能性もある。

図表 2 日本の米国債券保有額と対ドル円レートの推移



財務省データと Yahoo! ファイナンスのデータから作成

この間の対ドル円為替レートの動きと日本の米国債券保有額の対比を行ったのが図表 2 である。

現在、特に米国は景気対策を行うほどの経済が混乱している。例えば、米国金融市場が混乱を始めてから、FRB は段階的に公的金利を引き下げ、75 ベーシスポイント (0.75%) の緊急利下げが行われた。さらにまた、減税による景気対策も行われたが、金融市場も経済もその出口が見えていない状態にある。

例えば、米国の有力シンクタンクであるブルッキングス研究所において、クリントン政権時の財務長官であったロバート・ルービンが創設したハミルトンプロジェクトにおいては、この FRB による利下げの経済効果は 2008 年度中には完全には表れないとしている。